

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年11月27日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0871000287		
法人名	有限会社 さわやか荘		
事業所名	グループホーム さわやか荘	ユニット名	1
所在地	〒304-0075 茨城県下妻市南原132-1		
自己評価作成日	平成24年5月8日	評価結果 市町村受理日	平成24年11月19日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0871000287-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0871000287-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年7月18日	評価確定日	平成24年11月9日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>災害時に遠方の避難所への避難が困難なため、事業所を避難場所と考え事業所内のあちこちに水や食料品を備蓄するとともに、普段使用する公用車の空きスペースにコンパクトにまとめた利用者一人ひとりのオールシーズン分の洋服や毛布、トイレトペーパーを保管したり、事業所の庭先にある物置きに水や種類豊富な食料品、リハビリパンツ、トイレトペーパーなどを数日分備蓄し、災害時に備えている。</p> <p>職員は利用者が希望する場所や喜びそうな外出先を事前に下見するとともに、環境などを把握したうえで行事を企画して外出支援を行うなど、利用者の安全に配慮した工夫をしている。</p>
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝朝礼にて理念の復唱し、介護にあたるようにしている	「利用者が地域社会の中で安全に共同生活を送れるように職員が一丸となり、利用者本位に立った援助ができるようにする。利用者の個性を尊重し、個別ケアプランに基づいたサービスの提供と、サービスの質の向上に努める」との地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を事務室と食堂に掲示するとともに、管理者と職員は毎日の朝礼時に唱和して共有を図り、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	被災したこともあり、あまり交流ができていない ただ、避難訓練には地域の方に声をかけ、数名だが、協力していただき、参加していただき、実行することができたがまだまだ以前の交流まで至っていない	管理者が地元の住民ということから地域住民との係わりが強く、下妻市のふるさと博物館で催しがある際には博物館の職員から連絡があるほか、近隣の保育園の運動会や交流会に利用者と職員で参加して交流を図っている。 利用者と職員は事業所周辺を散歩しながら地域住民と挨拶を交わしたり、住民の庭先で咲いている花を貰うなど、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	集まりがあった際に、認知症とは…などの話をしたり、地域の方からの相談にもものっている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	職員が学んだ研修内容を報告したり、話し合いを持ったりして向上するように取り組んでいる 介護保険の改定に伴う料金の変更についても、まず推進会議時に話し合い、ご理解を得た後で他のご家族にも説明している	運営推進会議は家族等や市職員、自治会会長、管理者で2ヶ月に1回開催している。 会議では事業所の行事や利用者の生活状況を報告しているほか、活発な意見交換を行っている。 東日本大震災の経験を基に、災害時の避難場所について話し合い、避難所が遠方なため災害時には事業所の庭先に避難して救助を待つという方針を定めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	何か有るごとに、電話連絡は欠かさない 特に生活保護の方	運営推進会議に市担当者の参加を得るとともに、管理者は会議の議事録を必ず市担当者に渡し、事業所の実情や空き情報などを伝えながら協力関係を築いている。 管理者は福祉事務所に月1回訪問し、生活保護受給利用者に関する報告をしたり、市の生活保護担当者が年2回来訪し、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修にしたり、話し合いを持ったりして意識し介護するよう取り組んでいる	管理者と職員は身体拘束をしないケアの実践に向け、月1回行う職員会議の中で身体拘束の弊害を話し合っている。 現在医師の診断のもと転倒の危険性がある利用者に対して、家族等の同意を得て車いすのベルト着用やベッド柵の身体拘束を実施しているが、身体拘束解除に向け、定期的に医師の診断を受けたり、管理者や職員、家族等で話し合っている。 玄関は日中施錠していないが利用者の安全に配慮し、玄関扉に呼び鈴を下げるとともに、夜間は防犯のため施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修にしたり、話し合いを持ったりして意識し介護するよう取り組んでいる		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修にしたり、話し合いを持ったりして意識し介護するよう取り組んでいる		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明をしたときは、理解後署名していただくようにしている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	出来る限り面会時や月のお便り時に要望書を郵送（3か月に1回）し、ご意見等お聞きしている 支援に反映させている	管理者と職員は利用者や家族等が意見を出し易い雰囲気づくりに努めるとともに、利用者からは日々のふれ合いの中から、家族等からは面会時に話を聴いている。 家族等に利用者の日頃の様子を伝えることで意見や要望が出易くなるよう毎月事業所便りを発行し、用紙と返信用封筒を同封して意見等を汲みあげている。 重要事項説明書に苦情相談受付窓口を明記するとともに玄関に意見箱を設置しているが、投函の実績はない。 家族等から「利用者が外出をする時は事前に知らせてほしい」との意見を受け、事業所便りに外出予定日を掲載したり、利用者と家族等のそれぞれの都合を確認してから面会日を決めたり、「来訪したい」との家族等から電話があった際に面会の日時を調整するなど、利用者や家族等から出た意見等を運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議時に話し合いの機会を定期的に設け、反映させている	管理者は職員会議を月1回開催して職員の意見や提案を聞く機会を設けるとともに、出た意見等を検討して運営に反映させている。 職員は利用者が希望する場所や喜びそうな外出先の下見をして企画を提案し、年数回の外出支援に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	評価シートがあり、それにより反映するように努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	実践者研修や県・市主催の研修で力量に合った研修への参加を促している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	現在、同業者で話し合いを持ち、定期的交流会（年4回位の予定）の発足を計画中		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族や関係者からの話を聞き、時には家を訪問し、馴染みのものや興味のあることなどを調べ、その話題を提供し、共通の話題作りをしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	何か有るごとに、電話し聞くようにしており、家族の相談が医療面などの時は、医療機関にも出向き話を聞くようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	医療面が必要と感じた場合は医療的サービスをアドバイスする 金銭面の場合、特養・デイサービス・訪問介護などのサービスの説明をしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	悩み事や決定権を持っていただく機会の場面作りをしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に一度以上の面会をお願いしている 可能な時はお墓参りや外食・通院時も同行していただくこともある		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前暮らしていた場所の近くにドライブしに行ったりしている ご家族に話し、近所の方に遊びに来ていただくよう支援している	職員は利用者が入居前から訪れていたポピーや桜の花が美しい場所、友人宅など馴染みの場所に同行している。 遠方でも家族等の協力を得て外出ができるよう、職員は利用者の希望を家族等に伝えている。 利用者が希望する馴染みの店への外出や墓参りは、家族等の協力で支援している。 職員は利用者が馴染みの人との関係が途切れないよう電話の取り次ぎをしたり、家族等に利用者の馴染みの人が遊びに来てもらえるよう依頼している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合った方同士が、隣になるよう食事の席を時々かえたり、食器を拭く方・しまう方など協力してできることの機会を作っている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	電話がかかってきたり、来荘していただいたときには、相談にのるようにしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	サービス担当者会議時に話し合い、検討している	利用者一人ひとりに2名の担当職員が決まっている。 職員は日々の生活の中で利用者と会話を交わしたり、利用者のつぶやきから思いや意向を把握している。 思いを表出できない利用者には入居時のアセスメントを活用したり、担当職員が日々の生活の中で利用者の興味のあるような話をしながら表情や反応を観察して思いを推し量るほか、家族等から話を聞いて担当職員同士で話し合い、管理者に相談しながら把握に努めている。 把握した思いや意向は朝礼時に全職員で共有するとともに、個人ファイルに記録している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族に聞いたことや職員が見てきた状況なども、サービス担当者会議時に話し合っている		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定期的に毎日バイタル測定・リハビリ、排泄チェック表をつけ、把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族には要望書を定期的に（3か月に1回）郵送、面会時も何かあるか聞くようにしてから担当者会議をやり、介護計画を作成している	介護計画は利用者や家族等の来訪時や要望書を郵送して意見や要望を聞いて反映させるとともに、毎月の職員会議で話し合い、職員や主治医の意見などを取り入れて作成しているほか、モニタリングを実施して3ヶ月から6ヶ月毎に見直し、家族等の確認を得ている。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、随時現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日日勤帯・夜勤帯で記録を記入している ケアプランは、モニタリングをおこなっている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	現段階では、地震のことなどもあり、柔軟な支援とはいきれない（以前は遠くまで出かけたり、買い物に行ったりしていたが…）		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	職員が出来ることを把握し、一緒に行うことで利用者の方も混乱をおこすことなく、できるような支援をしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	重度化した場合にも訪問してもらえる医療機関がある	入居時に利用者や家族等の意向を確認し、希望するかかりつけ医への受診を支援するとともに、協力医療機関への受診も支援している。 職員は毎月1回利用者のかかりけ医や協力医療機関への通院に付き添っている。 夏や冬は外出して熱中症や感染症にかからないよう通院は控え、利用者の体調に変化がなければ利用者や家族等、医師の承諾のもと、職員が常用している薬を取りに行っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	随時話し合いを持つようにしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には必ず施設からの情報提供書を提供している 入院した際の治療計画や退院時のフォローなども、病院に出向き、都度聞いてくるようにしている	/	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	最初の段階から、どういう方向性かは聞くようにしており、できるかぎりご希望に沿った形で支援できるように話し合っている	事業所として基本的には看取りをしない方針であるが、利用者や家族等の希望により重度化や終末期に向けた看取り支援も可能となっている。 以前家族等の要望で看取りを実施した際は、利用者の状況をふまえ事業所の役割、家族の意向、主治医のバックアップ、結論などを記載する「ターミナルケアの話し合いの記録」を作成したが、書面で家族等の同意を得るまでには至っていない。 管理者は家族等と今後の対応方針を看取り直前の段階になってから話し合っており、早い段階から利用者や家族等と今後の対応方針を話し合い、同意を得るまでには至っていない。 重度化や終末期の対応マニュアルや看取り介護の役割分担を記載したマニュアルを作成したり、全職員に周知するまでには至っていない。	早い段階で利用者や家族等と今後の対応方針を話し合い、同意を得ることを期待する。 重度化や終末期の対応マニュアルや看取り介護の役割分担を記載したマニュアルを作成するとともに、研修を実施して全職員で共有し、医師や看護師などの関係者とチームで看取り支援ができる体制づくりを提案する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	1年に1回救急救命講習 1年に2回以上避難訓練	/	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成している 避難訓練では地域の方にも参加していただき行ったりしている	年2回消防署立ち会いのもと夜間想定を含む避難訓練を地域住民の参加を得て実施している。 避難訓練後は職員一人ひとりが反省点や課題についてまとめ、実施記録を作成するとともに、今後の課題を管理者と職員で話し合っている。 東日本大震災の経験から玄関先に非常持ち出しセットや炊き出しセットを置いたり、事業所内のあちらこちらに水や缶詰、菓子を備蓄している。 災害時には遠方の避難所の代わりに事業所の庭先に避難することを運営推進会議で決定し、公用車の空きスペースにコンパクトにまとめた利用者一人ひとりのオールシーズン分の衣類や毛布、トイレトペーパーのほか、物置にはリハビリパンツや食料を備蓄している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方にあった言葉を使って話すようにしている	職員は利用者一人ひとりの呼び方や言葉遣いに配慮しながら人格を尊重した対応に努めている。 職員は排泄介助時に利用者に小声で声をかけ、気配りしながらトイレ誘導をしているほか、利用者の個人的な話は居室で聞くなど、プライバシーを損ねない対応に努めている。 個人情報の書類は事務所の鍵のかかるロッカーに保管し、情報漏洩に留意している。 契約時に「個人情報の提供の同意書」を得ているが、個人情報使用目的に写真の掲示や事業所便りに添付する写真が含まれていない。	個人情報の使用目的を詳細に明示するとともに、書面で利用者や家族等の同意を得ることを期待する。 写真の掲示や事業所便りに添付する写真の使用について利用者一人ひとりの意向を確認し、全職員で共有するとともに適切に使用し、プライバシーの保護を徹底することを期待する。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご飯のメニューを決めていただいたり、ドライブ先を決めていただいたりしている	/		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り優先し、支援している	/		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員が髪を染めたり、切ったりしている	/		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を一緒にたてていただいたり、後片付けを手伝っていただいている	献立は代表者の知人の管理栄養士が作成し、糖尿病の利用者のカロリー制限や高血圧の利用者の塩分制限など、利用者の状況に合った食事を提供している。 利用者はできる範囲でジャガイモや玉ねぎ、人参の皮むきなどの下準備をしたり、配膳や下膳、後片付けを職員と一緒にしている。 職員は利用者と同じテーブルを囲み会話をしながら楽しく食事ができるよう支援している。 利用者の嫌いな献立の時は代替品に変更するとともに、行事食を提供したり誕生会にはケーキを用意するなど、食事が楽しみになるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分チェック表をつけ、1日の把握に努めている 1日1400kcal前後・1.5ℓ以上を目標に摂取		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	職員が介助し、一人一人に対応している		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表をつけ、サイクルを把握し、時間で声かけや誘導を行うようにしている	職員は排泄チェック表を利用して利用者の排泄パターンを把握し、利用者一人ひとりに合ったトイレ誘導をしているほか、リハビリパンツを使用して排泄の自立に向けた支援をしている。 職員は利用者が失禁した場合は周囲に気付かれないように居室や風呂場に誘導し、利用者の自尊心を傷つけないように配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量や運動を用いたり、服薬（整腸剤）など、で便秘をしないようにしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	現在入所中の利用者方の場合、ほとんどの方が医者の方の指示や、薬の都合、バイタル測定によっての入浴になっている 職員の都合にはなっていない	入浴は週2回を基本としているが、利用者の希望にそっていつでも入浴が可能となっている。 入浴を拒む利用者には「綺麗になりましょう」と声をかけたり、入浴チェック表を見せて今日は入浴をする日だと確認してもらうなどで入浴を促している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後、30分～1時間の昼寝をしていただいている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬が変わった時点で、説明書をよむようにしている 与薬チェック表を作り、薬を用意した職員と飲ませた職員がダブルチェックするようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご飯のメニューを決めていただき作り提供したり、ドライブに行き花見にいたりしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	バイタルの不安定や雨天時、感染症が流行していなければ、なるべく外に出るようにしている 各個人のお墓参り等は、ご家族に協力していただき実行している	天気の良い日は利用者と職員と一緒に事業所の周りを散歩して季節を肌で感じている。 職員は利用者が希望する場所や喜びそうな場所を事前に下見して環境などを把握したうえで行事を企画しており、下妻市の観桜苑に桜やあやめ、紫陽花の見物に出かけたり、筑波山のつつじ祭りや鹿島神社の菊祭りに出かけ、利用者が外出を楽しめるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に出かけた時は、好きな物を選んでいただき、職員が付き添いのもとレジで払っていただくようにしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	夜中でなければ、いつでも自由にできるようにしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、季節の食べ物をたべていただいたりしている 廊下等には極力何も置かないようにし、歩きやすい・または休めるスペースをつくっている	居間兼食堂の扉や窓は多くの採光を取り入れたり風景が眺められるよう透明ガラスを使用しており、玄関や屋外まで見通しが利くため、一目で利用者の状況が把握できる構造となっている。 日差しが強い窓によしずやすだれを掛けたり、エアコンや扇風機を利用しながら温度調整を行っている。 廊下にソファや縁台を置き、利用者が休憩したり、利用者同士で会話ができるよう工夫している。 廊下に掲示している利用者の写真には季節の花が写し出されており、季節感が窺える。 風呂場やトイレに手すりを設置しているほか、転倒防止のため脱衣所に縁台を置くなど、利用者の安全に配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にはソファとテーブルをおいたり、縁台を置き、話や休めるスペースをつくっている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に馴染みの布団や家具・気に入っている洋服などを持ってきていただいている	居室にはエアコンやクローゼット、カーテンのほかベッドを備え付けているが、ベッドが苦手な利用者には布団が使用できるよう支援している。 利用者は家族等と相談しながら使い慣れたタンスや鏡台、ぬいぐるみ、家族の写真、制作した工芸品などを持ち込み、居心地よく暮らせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	なるべく自分で出来ることはやっていただき、職員は見守りや助言でのフォローをするようにしている		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム さわやか荘

作成日 平成24年11月20日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	36	個人情報（写真）使用同意書	早急に同意を得る	写真使用・掲示同意書をと りかわす	3か月
2	33	ターミナルの方針と同意	ご家族と話し合いの 段階でできる限り同 意を得、書面に残す	同意を得た時点で、同意書 をと りかわす	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。